



New Yorkの町並み

Vol.01

CBD入りドリンクが大流行の兆し？

文 シェリー めぐみ

text by Megumi Shelly

二

ニューヨークのグリニッジ・ビレッジといえば、ブランドのショップやおしゃれなレストラン、バーなどが立ち並ぶファッショナブルな街。その一角にこの春オープンしたポップアップショップが大きな話題を呼んでいます。

ピンクやブルー、ライラックなどパステルカラーの可愛い店内の大きな冷蔵ケースにずらりと並ぶのは、Recess (リセス) というブランドのドリンク。一見普通の缶入り炭酸飲料に見えますが、実はこれ今大注目のCBD入りドリンクなんです。

CBD、耳慣れない言葉かもしれませんが、CBDはカンナビジオールはマリファナを含む大麻、カンナビスから抽出された化学物質で、嗜好用のマリファナのようにハイになることはありません。

このCBDを含む食品から美容健康商品まであらゆる製品が今アメリカでは大ブレイクしています。その最大の理由は既にアメリカの半分以上の州で合法化されている医療大麻の効果が知られてきていること。

CBDなら大麻がまだ非合法の州でも合法ということで、既に慢性的痛み、不安神経症、てんかんなどの治療にも使われています。

そのCBDをドリンクに加えることで、リラククスできるだけでなく炎症や痛み、筋肉の痙攣などを和らげるヘルシー・ドリンクになるといって、Recessのようなオンライン販売

を中心としたCBDドリンクは、ソイダからコーヒー、マッチャまで様々なタイプが市場に出回っています。そして見逃せないのはここに大手も参入しようとしていることです。

去年の秋には「コココーラ社がマリファナ入りドリンクを発売する事を考えている」という情報が業界を駆け巡ったために、カナダのマリファナ製造会社オーロラ・カニビスの株価が急騰しニュースになりました。

その背景にはコーラなどの炭酸飲料の消費の減少がありますが、実はクラフトビールに押され気味の大手ビールブランドもCBDに注目。コロナ・ビールなどを発売するコンステレーション・ブランドはカナダの別の大麻製造会社に投資、マーサ・スチュワート監修によるCBDドリンクを開発中と伝えられています。クアーズはやはりカナダ

でCBD入りドリンクを開発中。ギネスのディアジオ社も複数の大麻製造会社と交渉中。さらにハイネケンのラグニタス社は、大麻のもう一つの有効成分で、ハイになる成分THCIIテトラヒドロカンナビノールを含む、ノンアルコール・ドリンクの販売を始めています。

この結果 CBDドリンクの市場規模は2024年までに現在の150億円に膨れ上がると予想されています。

ビールの代わりにはCBD入りドリンクを飲む時代はすぐそこに来ているのかもしれない。

Profile

ジャーナリスト・ミレニアル世代評論家

1991年からニューヨーク在住。

ラジオ・テレビディレクターとして多くの音楽・情報番組を制作した後、長いアメリカ生活で培った人脈や知識、知見を生かし、健康医療、環境、移民、人種、音楽などをテーマに、トレンドや社会現象の背景とその先を知るための一歩踏み込んだ情報をラジオ・ネット・紙媒体などを通じて発信。

ニューヨークのミレニアル世代の若者とも交流を深め、ミレニアル世代評論家としても様々な媒体に情報を提供している。

早稲田大学政経学部経済学科卒業

オフィシャルブログ <https://megumedia.com/>

